

置賜森林病虫害獣対策協議会の取組について

山形県置賜総合支庁森林整備課 主任専門林業普及指導員 榎田博郎

1. はじめに

山形県置賜地域は、山形県の南部に位置し、奥羽山脈を境にして、宮城県と福島県に隣接している。

置賜地域は森林の割合が77%と高く、森林に覆われた地域である。また、多くの松林やナラ林が存在し、森林の有する多面的機能を発揮し、県民の生活に重要な役割を果たしている。

しかしながら、松くい虫、カシノナガキクイムシ、カツラマルカイガラムシによる森林病虫害被害が継続しているほか、ツキノワグマのよるクマ剥ぎ被害が拡大しており、森林の有する多面的機能の低下や県民生活に支障をきたす脅威となっている。

また、全国的にニホンジカによる森林被害が深刻な状況となっているが、置賜地域においても目撃情報が増加しており、予断を許さない状況となっている。

このため、森林病虫害獣被害から置賜地域の森林を保全する目的で、県、市町、関係団体による「置賜森林病虫害獣対策協議会」を平成19年に設立し、被害状況の情報共有や防除対策に関する普及啓発及び支援等の取組を実施している。

2. 取組の方法

置賜森林病虫害獣対策協議会では、関係機関と連携を図りながら、研修会の開催や防除対策の支援、普及啓発を実施している。

(1) 森林病虫害獣対策に係る技術研修会等の開催

- ①ナラ枯れや松くい虫による被害の防除技術研修
- ②クマ剥ぎやシカによる獣害の防除研修
- ③ポータブルウインチによる被害木の搬出研修



①松くい虫被害に関する
防除技術研修会



②クマ剥ぎ被害に関する
防除技術研修会



③被害木の搬出研修

(2) 森林病虫害獣被害防除対策の支援

- ①被害木の倒木による人的・家屋への被害（二次被害）防止に係る支援
- ②獣害対策への支援



①被害木の倒木等による
注意看板設置への支援



②クマ剥ぎ被害対策への
支援

(3) 森林病虫害獣被害対策等の普及啓発

森林病虫害防除に関するパンフレットの配布やパネル掲示



森林病虫害防除に関する
パネルの掲示



森林病虫害防除に関する
パンフレットの配布

3. 取組の結果

これまで、会議や研修会を計95回（参加者1,884名）実施した。

関係者間で森林病虫害獣による被害状況の情報共有の構築ができた。

また、国、県、市町、森林組合の担当者に対し、森林病虫害獣のメカニズム及び防除方法を理解してもらうことができた。

研修会において、専門性の高い外部講師を招いて、より具体的な内容で防除対策に対する理解を深めることができた。

また地元住民の方にも研修会等に参加して頂き、改めて里山林や所有林への関心を高めることができた。

4. まとめ

森林病虫害による被害は増減を繰り返しているが、ツキノワグマによるスギの剥離被害は広範囲に急増している。また、ニホンジカが目撃件数が増加しており、新たな森林被害の発生が懸念される。

引き続き、関係機関と連携を図りながら、森林被害に関する情報共有や防除対策に関する普及啓発及び防除活動への支援を行う。

森林病虫害の被害については減少傾向にあるが、これまで被害を受けてきた樹木の倒木等による二次被害の増加が懸念されるため、被害木の伐倒や注意喚起の看板設置等により二次被害防止に努めるよう、働きかけを行うとともに支援を継続する。